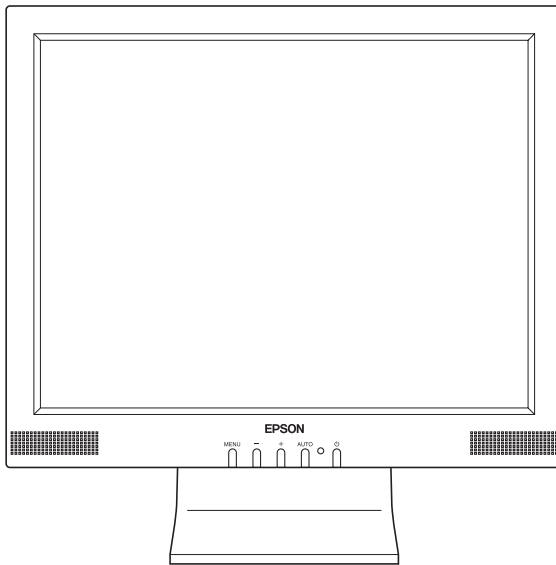


EPSON

15型液晶ディスプレイ

取扱説明書



LD1533


ご使用前に


- 本機をご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために


本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。








障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

| | |
|---|-------------------------------------|
|  | 製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。 |
|---|-------------------------------------|

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

| | |
|---|---------------------------------|
|  | 必ず行う事項(指示、行為)を示しています。 |
|  | 電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。 |
|  | アース端子を必ず接地(アース)して使用することを示しています。 |

⚠ 警告

| | |
|---|--|
|  | <p>交流100V以外の電源は使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p> |
|  | <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p> |
|  | <p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p> |
|  | <p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 ・ 電源プラグを長期間コンセントに差ししたままにしない。 <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p> |
|  | <p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。</p> |
|  | <p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源コードを加工しない。 ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしない。 ・ 電源コードの上に重いものを載せない。 ・ 発熱器具の近くに配線しない。 <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターにご相談ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p> |
|  | <p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p> |

⚠ 警告

| | |
|---|---|
|   | <p>通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p> |
|   | <p>水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧ください。</p> |
|   | <p>本機の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。</p> |
|  | <p>アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。 また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。</p> |
|  | <p>電源プラグのアース端子を接地(アース)してください。 感電の危険があります。 アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。</p> |
|  | <p>アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。</p> |
|  | <p>アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。</p> |

⚠ 注意

| | | |
|---|---|---|
|  |  | <p>小さなお子様の手の届く場所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p> |
|  |  | <p>不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p> |
|  |  | <p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p> |
|  |  | <p>本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所には設置しない。 ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。 |
|  |  | <p>各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p> |
|  |  | <p>液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、さわったりしないでください。 火傷や化学物質による被害の原因となります。 万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。</p> |
|  | | <p>本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。</p> |
|  | | <p>連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> |
|  |  | <p>本機を廃棄する場合は、法律に従って正しく処理してください。 液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には、水銀が含まれています。</p> |

目次

| | |
|-------------------|----|
| 目次 | 6 |
| 本書中の表記について | 7 |
| 添付品の確認 | 8 |
| 本機の特長 | 9 |
| 各部の名称と働き | 10 |
| 本機前面 | 10 |
| 本機背面 | 11 |
| 使用時の確認事項 | 12 |
| コンピューターと接続する | 13 |
| 設置における注意 | 13 |
| 各種コード（ケーブル）接続時の注意 | 14 |
| 接続方法 | 15 |
| 電源の入れ方 / 切り方 | 19 |
| 電源の入れ方 | 19 |
| 電源の切り方 | 19 |
| 本機の省電力機能 | 20 |
| 画面や音量を調整する | 21 |
| 各ボタンの機能 | 21 |
| 自動画面調整 | 22 |
| 解像度 | 22 |
| OSDメニューでの調整 | 23 |
| 音量を調整する | 30 |
| お手入れ | 31 |
| 外装 | 31 |
| 液晶パネル部分 | 31 |
| 収納するときは | 32 |
| 困ったときは | 33 |
| 修理を依頼する前に | 34 |
| 機能仕様一覧 | 35 |
| プリセットタイミング | 36 |

▶本書中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。
例)『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』:本書とは別に添付されている『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』を示します。



参照先を示します。

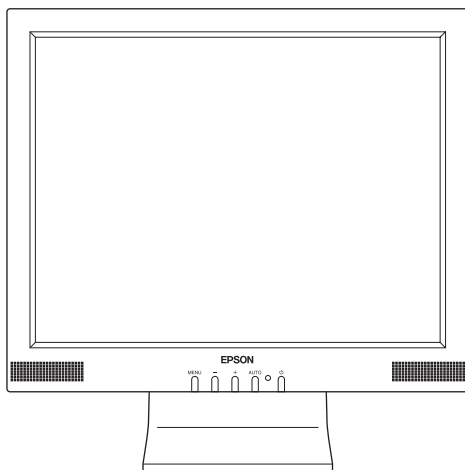


操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

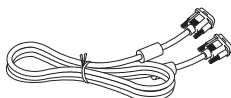
▶ 添付品の確認

15型液晶ディスプレイ(以下、本機)には、次の添付品が梱包されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、本機に添付の『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、担当窓口へご連絡ください。

梱装箱や梱包材は、輸送時などに備えて保管しておいてください。



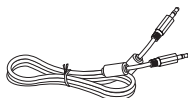
ディスプレイ本体



VGA ケーブル (アナログ)



電源コード



オーディオケーブル

取扱説明書(本書)

サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)

▶本機の特長

本機の特長は次のとおりです。

① 表示

15型カラーTFT液晶パネルを搭載し、解像度は最大で1024×768(XGA)、色数は約1677万色表示に対応しています。

② インタフェース

VGAコネクタ(アナログ入力)を装備しています。

③ サウンド機能

ライン入力コネクタ、スピーカーを装備しています。添付のオーディオケーブルでコンピューターと接続すると、本機のスピーカーからコンピューターの音声を出力することができます。

④ 画面調整

On-Screen-Display(以降、OSD)のメニューにより、ディスプレイの様々な調整ができます。

⑤ 省電力機能

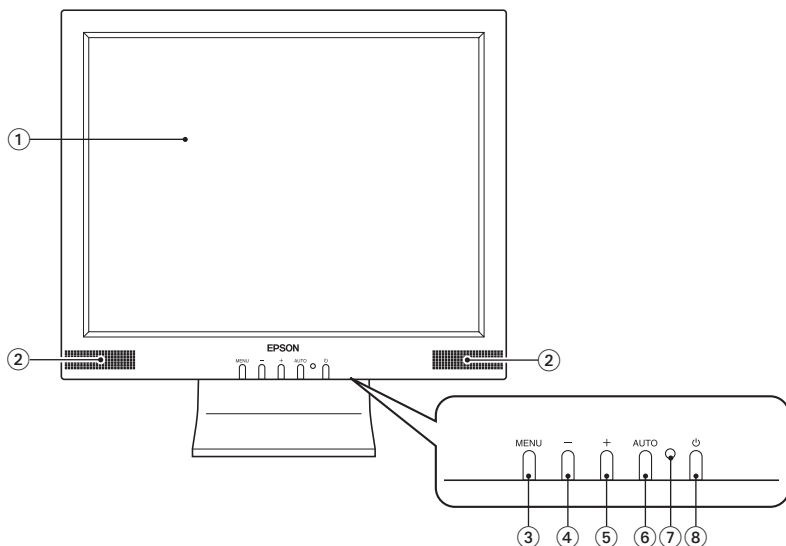
本機を使用していない間、スタンバイ状態にして消費電力を抑えることができます。

⑥ DDC 2B(Display Data Channel)

本機はDDC 2Bに準拠しています。そのため、本機をコンピューターに接続だけで、本機の解像度やリフレッシュレートなどの情報がコンピューターに読み込まれ、最適な表示をすることができます。

▶各部の名称と働き

本機前面



① 液晶パネル


本機に入力された信号をもとに、文字や画像などを表示します。

② スピーカー

オーディオケーブルで接続したコンピュータの音声を出力します。


③ MENUボタン

画面の調整を行うOSDメニューを表示します。OSDメニュー表示時は、設定項目を決定します。

 p.23「OSDメニューでの調整」


④ -ボタン

音量調整画面を表示します。OSDメニュー表示時は、項目の選択や値の設定をします。

 p.30「音量を調整する」


⑤ +ボタン

音量調整画面を表示します。OSDメニュー表示時は、項目の選択や値の設定をします。

 p.30「音量を調整する」

⑥ AUTOボタン

画面の表示位置などを自動的に最適状態に調整します。

 p.22「自動画面調整」

⑦ 電源表示ランプ

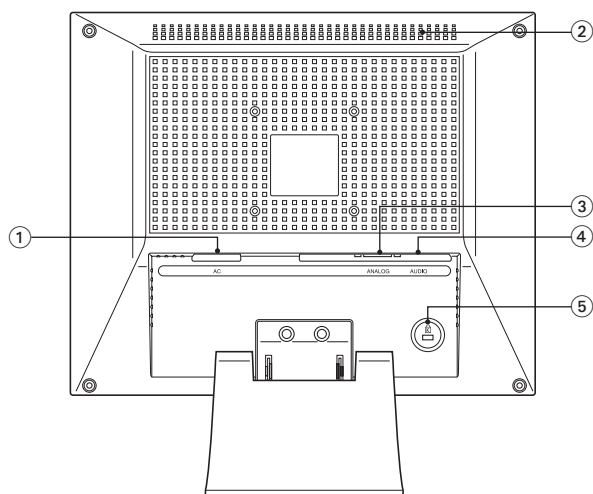
本機の動作状態をランプの色で表示します。

| ランプ表示 | 本機の状態 |
|---------|--------|
| 緑色点灯 | 通常動作時 |
| オレンジ色点灯 | スタンバイ時 |
| 消 灯 | 電源オフ時 |

⑧ 電源スイッチ (I)

本機の電源の入/切を行います。

本機背面



① 電源コネクタ AC

電源コンセントと電源コードで接続して本機に電気を供給します。

② 通風孔

ディスプレイ内部で発生する熱を逃したり、外気を取り入れたりします。

③ VGAコネクタ ANALOG

VGAコネクタを装備したコンピューターとVGAケーブルで接続します。

④ ライン入力コネクタ AUDIO

コンピューターのライン出力コネクタと接続して音を取り込みます。

⑤ セキュリティロックスロット

市販の盗難抑止ケーブル(ワイヤー)を接続します(ケンジントン社製セキュリティロックに対応しています)。

▶使用時の確認事項

本機をお使いになる前に、下記の確認事項を必ずお読みください。また、本書巻頭の「安全にお使いいただくために」も必ずお読みください。

- 液晶パネルは、表示する条件により斑点や色むらが目立つ場合があります。また、液晶パネルは非常に高い精度で作られていますが、ごくわずかに常時消灯、あるいは常時点灯するドットが存在する場合があります。いずれの場合も、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。



液晶パネルのドット抜け基準値

本機の液晶パネルのドット*抜け基準値は、5個以下です。これは、全ドットの0.00021%以下に相当します。

*「ドット」は副画素(サブピクセル)を指します。液晶パネルでは、1個の画素がRGBの3個の副画素で構成されています。本機の場合は、2,359,296個の副画素があります。本書に記載しているドット抜け基準値は、SO113406-2に従って、副画素単位で計算しています。

▶コンピューターと接続する

本機をコンピューターに接続する手順について説明します。
接続するコンピューターのマニュアルも合わせてご覧ください。
コンピューターに拡張ビデオボードやサウンドボードを装着している場合は、各ボードのマニュアルもご覧ください。

設置における注意



- 不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
設置する際は、次の点を守ってください。
 - ・ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に設置しない。
 - ・ じゅうたんや布団の上などに設置しない。
 - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード(ケーブル)接続時の注意



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント(交流100V)から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



各種コード(ケーブル)は、本書で指示されている以外の配線をしてください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

接続方法

本機とコンピューターの接続は、次の手順で行います。

接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

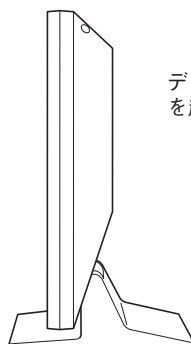
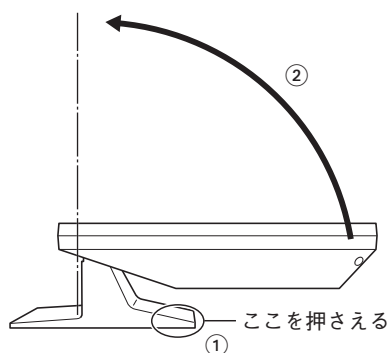
1 本機を梱包箱から取り出して、設置場所(机などの丈夫で水平な台の上)に置きます。

2 本機のディスプレイ部分を起こします。

① 片手でスタンドの後方をしっかり押さええます。

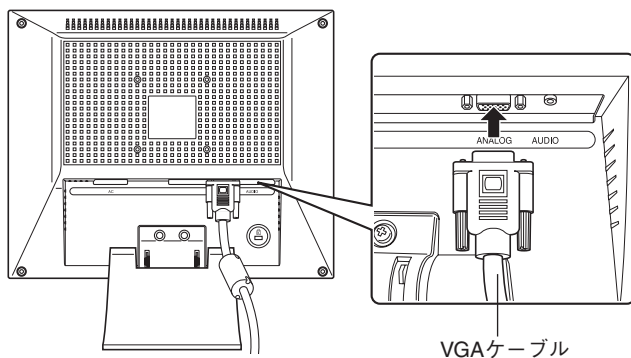
② スタンド部分を押さえたまま、もう一方の手でディスプレイ部分をスタンド底面と垂直になるまで起こします。

このとき、スタンドが浮き上がらないように注意してください。



ディスプレイ部分
を起こした状態

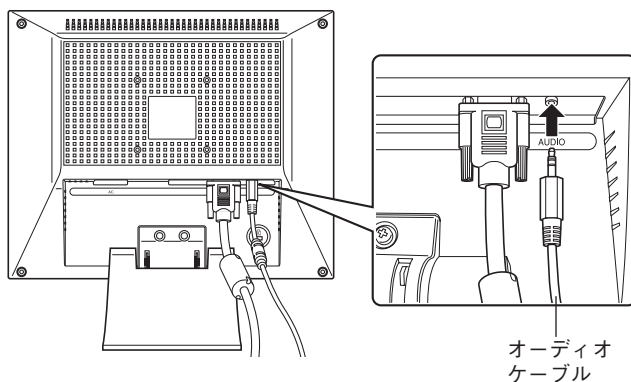
- 3** 添付のVGAケーブルを、本機のVGAコネクタ(ANALOG)とコンピューターのVGAコネクタに接続します。



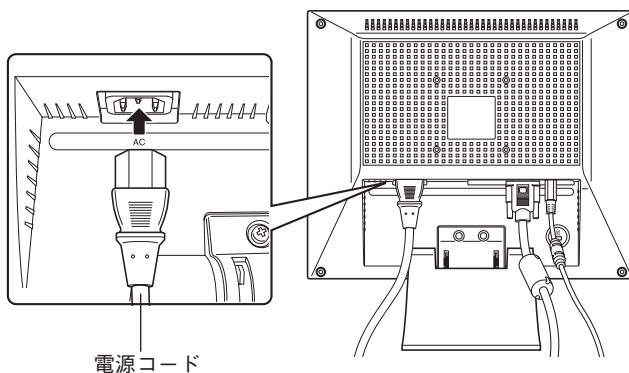
ケーブルを差し込んだあとは、コネクタの両側のネジを回して、コネクタをしっかりと固定します。

- 4** コンピューターの音声を本機のスピーカーから出力させる場合は、添付のオーディオケーブルを、本機のライン入力コネクタ(AUDIO)に接続します。

もう一方のコネクタは、コンピューターのライン出力コネクタに接続します。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続してください。

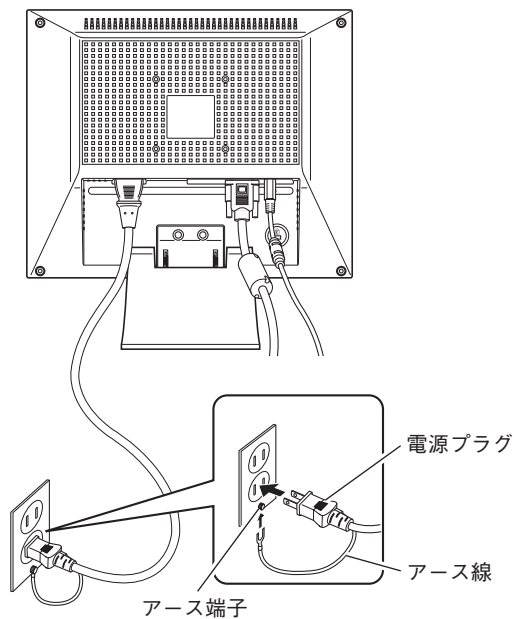


5 添付の電源コードを、本機の電源コネクタ(AC)に接続します。



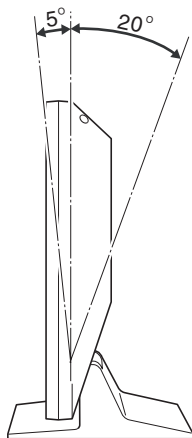
6 電源コードを電源コンセントに接続します。

電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。



これで接続作業は終了です。

- 7** 必要に応じて、画面の角度を調節します。
前方向に約 5° 、後方に約 20° まで角度調節することができます。



▶電源の入れ方/切り方

本機の電源の入れ方や切り方、および省電力機能について説明します。コンピューターの電源の入れ方や切り方は、コンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

電源の入れ方

電源を入れる順序は次のとおりです。

- 1 電源スイッチ(⏻)を押して、電源を入れます。**
本機の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- 2 コンピューターの電源を入れます。**
本機の電源表示ランプが緑色に変わり、画面が表示されます。

電源の切り方

電源を切る順序は次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切ります。**
画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。
- 2 電源スイッチ(⏻)を押して、電源を切ります。**
本機の電源表示ランプが消灯します。

本機の省電力機能

コンピューターの電源が切れていたり、コンピューター側の省電力機能が働いていたりして、コンピューターから本機への入力信号がない場合は、本機は自動的にスタンバイ(画面表示をしない)状態になります。

本機の各動作状態における消費電力と電源表示ランプの状態は次のとおりです。

| 動作状態 | 消費電力 | 電源表示ランプ |
|--------------------|-------|-----------------------|
| 通常動作時 | 最大25W | 緑色に点灯 |
| スタンバイ時 (入力信号なし) | 2W以下 | オレンジ色に点灯 画面表示は消えます |
| 電源オフ時 | 1W以下 | 消灯 |

コンピューターによる省電力機能の詳細は、コンピューターの『ユーザーズマニュアル』-「省電力機能を使う」をご覧ください。

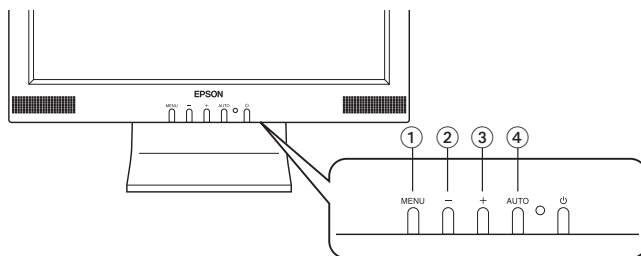
▶画面や音量を調整する

本機では、本機下部の各ボタンを使って、次のような調整をすることができます。

- ・ 自動画面調整
- ・ OSDメニュー(画面表示に関する設定画面)を使用した手動による調整
- ・ スピーカーの音量調整

各ボタンの機能

本機下部の各ボタンには、それぞれ機能が割り付けられています。各ボタンに割り付けられている機能は次のとおりです。



| ボタン | 通常画面での機能 | OSDメニューでの機能 | 調整画面での機能 |
|-----------|---|---|------------------------|
| ① MENUボタン | OSDメニュー(メインメニュー)を表示します。 ☞ p.23 「OSDメニューでの調整」 | ・ +、- ボタンで選択した設定項目を決定します。 ・ 調整画面がある場合には調整画面を表示します。 ・ サブメニューがある場合にはサブメニューを表示します。 | 各設定項目の値を設定し、調整画面を閉じます。 |
| ② - ボタン | 音量調整画面を表示します。 | メニュー内で設定を変更する項目を選択します。 | 各設定項目の値を変更します。 |
| ③ + ボタン | ☞ p.30 「音量を調整する」 | | |
| ④ AUTOボタン | 画面を自動で調整します。 ☞ p.22 「自動画面調整」 | | |

自動画面調整

自動画面調整とは、画面表示を自動で最適な状態に調整する機能です。自動画面調整は、本機を購入後はじめて使用する場合や、別のコンピューターに接続しなおした場合などに行います。

自動画面調整を行うときは、次の点を守ってください。

- ・ 本機の電源を入れて30分経過後、本機の動作が安定した状態で行う。
- ・ Windowsのデスクトップ画面などを表示した状態で行う。

AUTOボタンを押すと、「自動画面調整中」と表示され、「クロック」、「フェーズ」、「水平位置」、「垂直位置」、「コントラスト」が自動的に調整されます。

自動画面調整を行っても、表示が調整されない場合は、MENUボタンを押して、OSDメニューから「画面調整」を選んで手動で画面を調整してください。



デスクトップ画面の背景が黒色の場合は、自動画面調整を行っても正常に調整されない場合があります。この場合は、黒色以外の背景を使用してください。

解像度

本機の最大解像度は1024×768(XGA)です。本機に接続するコンピューターの解像度は、1024×768(XGA)に設定して使用することをおすすめします。

解像度の設定については、コンピューターに添付の『ユーザーズマニュアル』-「解像度や表示色を変更する」をご覧ください。

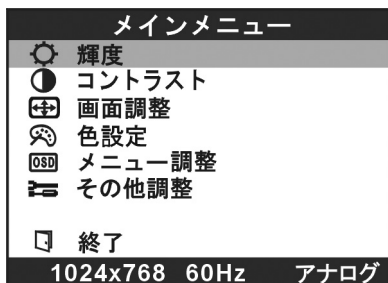
OSDメニューでの調整

画面表示位置がずれているので調整したい、画面が暗いので明るくしたいなど、画面に関する詳細設定は、OSDメニューで行います。

- OSDメニューの起動と操作方法

OSDメニューの起動と基本的な操作方法は次のとおりです。

- 1 MENUボタンを押して、OSDメニュー(メインメニュー)を起動します。



メニュー下側の欄には、画面の解像度や周波数、入力信号(アナログ)が表示されます。

- 2 +ボタンまたは-ボタンを押して調整したい項目を選択し、MENUボタンを再度押します。

「画面調整」、「色設定」、「メニュー調整」、「その他調整」を選択した場合には、サブメニューが表示されます。サブメニューで項目を選択してください。サブメニューの場合も、基本的な操作方法はメインメニューと同様です。

- 3** 調整する項目の画面が表示されたら、+ボタンまたは-ボタンで設定値を調整します。



(輝度調整画面)

- 4** 調整が終了したら、MENUボタンを押します。

メインメニューに戻ります。

サブメニュー(色設定を除く)からは、「戻る」を選択してMENUボタンを押すとメインメニューに戻ります。

- 5** +ボタンまたは-ボタンを押して「終了」を選択し、MENUボタンを押します。

これで、OSDメニュー(メインメニュー)が終了します。

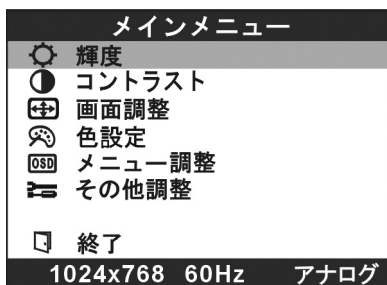
各メニュー画面は、MENUボタンを長押し(2秒以上)することで終了させることもできます。

また、メニュー表示時間内に何も操作を行わないと、各メニュー画面は自動的に終了します(表示時間の初期値は30秒)。

● 設定できる項目

OSDメニューで設定できる項目は次のとおりです。

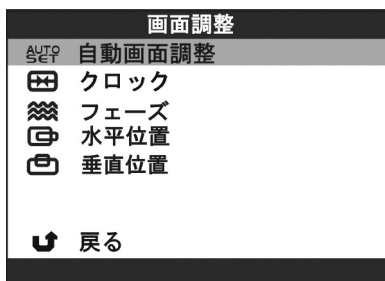
メインメニュー



メインメニューでは、次の項目を選択できます。

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| 輝度 | 画面の輝度(明るさ)を調整します。 |
| コントラスト | 画面のコントラスト(明暗比)を調整します。 |
| 画面調整 | 画面調整サブメニューを表示します。 👉 p.26「画面調整サブメニュー」 |
| 色設定 | 色設定サブメニューを表示します。 👉 p.27「色設定サブメニュー」 |
| メニュー調整 | メニュー調整サブメニューを表示します。 👉 p.28「メニュー調整サブメニュー」 |
| その他調整 | その他調整サブメニューを表示します。 👉 p.29「その他調整サブメニュー」 |
| 終了 | OSDメニューを終了します。 |

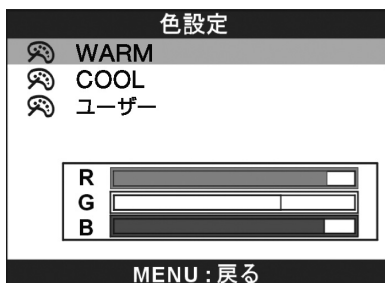
画面調整サブメニュー



画面調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|--------|--|
| 自動画面調整 | MENUボタンを押すと、クロック、フェーズ水平位置、垂直位置を自動的に最適な状態に調整します。 |
| クロック | 表示画面に縦縞状のノイズが入っているときに調整します。 |
| フェーズ | 画面のにじみやちらつきがある場合に調整します。 |
| 水平位置 | 表示画面を左右に移動して調整します。+ボタンで右方向に、-ボタンで左方向に表示画面が移動します。 |
| 垂直位置 | 表示画面を上下に移動して調整します。+ボタンで上方向に、-ボタンで下方向に表示画面が移動します。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

色設定サブメニュー



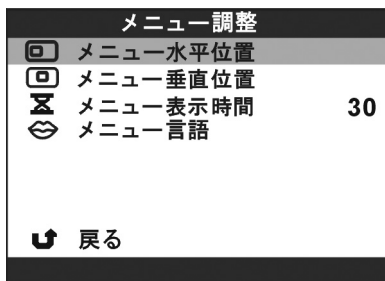
色設定サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|-----------------|--|
| WARM | 画面表示を昼光色に近い自然な色調にします。 |
| COOL | 画面表示を昼光色より青みがかった色調にします。 |
| ユーザー (R、G、B) | 画面表示の初期値です。 「R(赤)」、「G(緑)」、「B(青)」の各設定値を変更して、お好みの色調に調整できます。 色調を調整するには、まず、+ボタン、-ボタンで変更する色を選択し、MENUボタンで決定します。次に、+ボタン、-ボタンで色の設定値を変更し、MENUボタンで決定します。 |

メインメニューに戻るには、MENUボタンを押します。

ユーザーの色設定(R、G、B)を選択中は、MENUボタンの機能が異なるため、メインメニューには戻りません。

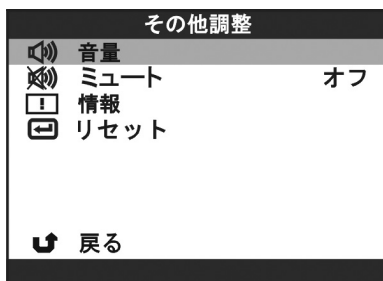
メニュー調整サブメニュー





メニュー調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|--------------|---|
| メニュー 水平位置 | OSDメニューの位置を左右に移動して調整します。+ボタンで右方向に、-ボタンで左方向にOSDメニューが移動します。 |
| メニュー 垂直位置 | OSDメニューの位置を上下に移動して調整します。+ボタンで上方向に、-ボタンで下方向にOSDメニューが移動します。 |
| メニュー 表示時間 | OSDメニューを表示させる時間を設定します。 5秒から30秒の間で設定できます。 初期値は30秒です。 |
| メニュー言語 | OSDメニューの表示言語を設定します。+ボタン、または-ボタンで「日本語」または「ENGLISH」を選択します。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

その他調整サブメニュー



その他調整サブメニューでは、次の項目を設定できます。

| 項目 | 内容 |
|------|--|
| 音 量 | 本機から出力される音量を調整します。  p.30「音量を調整する」 |
| ミュート | 本機から出力される音量をミュート(消音)に設定します。MENUボタンを押すたびに、「オン」、「オフ」が切り替わります。  p.30「音量を調整する」 |
| 情 報 | コンピューターからの入力信号の情報を表示します。解像度、プリセットされているモード、入力信号(アナログ)、垂直周波数、水平周波数とその極性を表示します。 |
| リセット | MENUボタンを押すと、OSDメニューのすべての設定値が初期値に戻ります。 |
| 戻る | メインメニューに戻ります。 |

音量を調整する

音量の調整は、音量調整画面を表示して行います。

音量調整画面を表示するには、次の2とおりの方法があります。

- ・ 通常画面で+ボタンまたは-ボタンを押す
- ・ 「メインメニュー」画面-「その他調整」画面-「音量」を選択する



音量調整画面での音量の調整方法は次のとおりです。

| ボタン操作 | 状態 |
|------------------|--|
| +ボタンを押す。 | 音量が大きくなります。 |
| -ボタンを押す。 | 音量が小さくなります。 |
| +ボタンと-ボタンを同時に押す。 | ミュートになります。+ボタンまたは-ボタンを押すと、ミュートが解除されます。 |

音量調整画面を表示した状態で、メニュー表示時間内に何も操作を行わないと、音量調整画面は自動的に閉じます(表示時間の初期値は30秒)。

▶お手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

本機外装の汚れやホコリは、水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布をよく絞って、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

液晶パネル部分

液晶パネル部分は傷つきやすいため、液晶パネルについた汚れやホコリは、乾いた布やティッシュペーパーなどで軽く拭き取ります。水や洗剤などは使わないでください。

▶ 収納するときは

本機を輸送する場合は、本機を折りたたんで梱包箱に収納します。

本機の収納は、次の手順で行います。

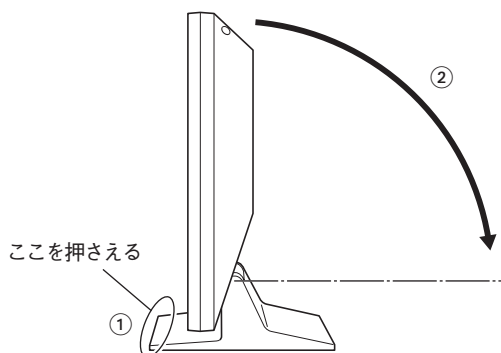
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本機に接続しているすべてのコードやケーブルを取り外します。

コードやケーブルを取り外すときは、必ずプラグやコネクタ部分を持って行ってください。

2 本機のディスプレイ部分を倒します。

① 片手でスタンドの前方をしっかりと押さええます。

② スタンドの前方部分を押さえたまま、もう一方の手でディスプレイ部分を後方に倒し、スタンドの底面と平行にします。



ディスプレイ部分を倒したときに、バランスを崩さないよう注意してください。


3 ディ스플레이部分とスタンド底面が平行になった状態で梱包箱へ収納します。

▶困ったときは

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合、参考にしてください。

現象 画面に何も表示されない。


- 確認と対処**
- 本機の電源が入っている(電源表示ランプが点灯している)かどうか確認してください。
 - 電源コード、またはVGAケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - コンピューターの電源が入っているか確認してください。
 - コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

 p.36「プリセットタイミング」


- 電源表示ランプがオレンジ色に点灯している場合は、本機がスタンバイ状態に入っています。コンピューターのキーボードやマウスなどを操作してみてください。
- 上記の対処を行っても画面に何も表示されない場合は、本機に添付の『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、テクニカルセンターへご連絡ください。

現象 画面がちらついたり、乱れたりする。

- 確認と対処**
- コンピューターの信号タイミングが本機の仕様にあっているか確認してください。

 p.36「プリセットタイミング」

- 自動画面調整を行ってください。
- お使いのコンピューターがリフレッシュレートを変更できる機種の場合は、周波数を変更してみてください。

 コンピューターの『ユーザーズマニュアル』

- 上記の対処を行っても改善されない場合は、本機に添付の『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、テクニカルセンターへご連絡ください。

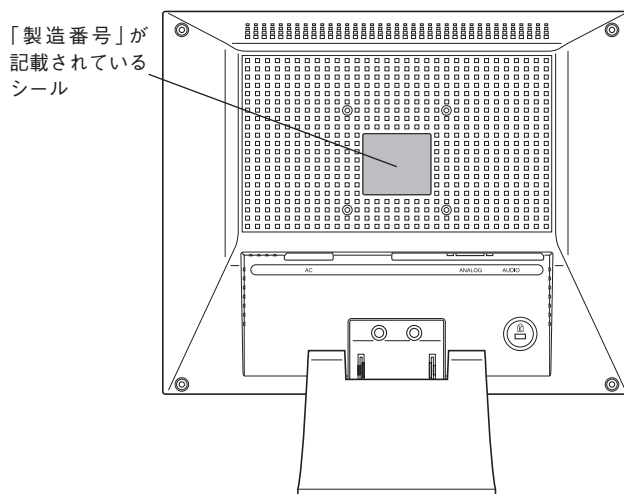
修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、p.33「困ったときは」と合わせて、お使いのコンピューターに添付の『ユーザーズマニュアル』-「ディスプレイの不具合」の内容もご確認ください。

それでも問題が解決できない場合は、本機に添付の『サポート・サービスのご案内(ディスプレイ用)』をご覧になり、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。修理の受付を行います。

なお、ご連絡いただく前に、本機背面に貼られているシールで本機の「製造番号」を確認しておいてください。修理受付の際に、本機の「製造番号」をおたずねすることがあります。

シールの位置は、下記のとおりです。



▶機能仕様一覧

| | |
|---------------|--|
| サイズ | 15.0型(可視域対角38.0cm) |
| パネル方式 | カラーTFT |
| 画素ピッチ | 0.297mm×0.297mm |
| 最大解像度 | XGA:1024×768 |
| 最大表示色 | 約1677万色 |
| 同期周波数 | 水平:30-62kHz/垂直:55-77Hz |
| 最大輝度 | 250cd/m ² |
| コントラスト比 | 600:1 |
| 応答速度 | 約8ms |
| 視野角 | 水平:160°/垂直:160° |
| 表示画面サイズ(横×縦) | 約304mm×約228mm |
| 調整機能 | 輝度、コントラスト、画面調整(自動画面調整、クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)、色設定(WARM、COOL、ユーザー設定)、メニュー水平位置、メニュー垂直位置、メニュー表示時間、メニュー言語、音量、ミュート、情報、リセット |
| 入力信号 | アナログ RGB(同期:セパレート) |
| 入力端子(VGAコネクタ) | ミニ D-sub 15ピン |
| ライン入力コネクタ | ステレオミニジャック |
| スピーカー | 1W+1W |
| 入力電源 | AC100V±10% 50/60Hz |
| 消費電力 | 25W(最大)/2W以下(スタンバイ時)/1W以下(電源オフ時) |
| 温湿度条件 | 温度:10~35℃ 湿度:20~80%(ただし結露しないこと) |
| 外形寸法 | 約348(幅)×約190(奥行)×約332(高さ)mm |
| 質量 | 本体のみ:約3.2Kg |
| プラグアンドプレイ | VESA DDC 2B |
| パワーセーブ | VESA DPMS準拠 |

プリセットタイミング

本機には、下記の信号タイミングに対応する最適な画面設定があらかじめ登録(プリセット)されています。



- お使いのコンピューターの解像度などを下記の信号タイミング以外に設定したとき、正常に表示されない場合があります。
- 未対応の信号タイミングが本機に入力された場合、「入力信号仕様範囲外」と表示され、本機はスタンバイ状態に入ります。この場合は、お使いのコンピューターに添付の『ユーザーズマニュアル』-「表示装置に関する設定」をお読みにになり、リフレッシュレートを下記のいずれかの垂直周波数に設定してください。

| 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|---------------|----------------|---------------|
| VESA 640×480 | 31.5 | 60 |
| | 37.9 | 72 |
| | 37.5 | 75 |
| VGA 720×400 | 31.5 | 70 |
| VESA 800×600 | 37.9 | 60 |
| | 48.1 | 72 |
| | 46.9 | 75 |
| VESA 1024×768 | 48.4 | 60 |
| | 56.5 | 70 |
| | 60.0 | 75 |

MEMO

本機を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本機は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。

本機の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また国外ではその国の法律または規制により、本機を使用できないこともあります。このような国では、本機を運用した結果、罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

有寿命部品について

液晶ディスプレイには寿命部品が含まれています。

有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日8時間、1ヶ月で25日間のご使用で、約5年です。これは、あくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用など、ご使用の状態によっては早期に、あるいは製品の保証期間内であっても、部品交換(有料)が必要となります。

パソコン回収について



当社では、不要となったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきまして、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

商標について

本書に記載の社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

C77546001

EPSON